

小倉南幼稚園 1月の実践

【ねらい】 友達と同じ目的をもち、考えを出し合ったり試行錯誤したりしながら、遊びを進める楽しさを味わう。

【活動】 「人間すごろく」をつくって遊ぶ。

いろいろな形の積み木があるけれど、どれがいいかな？

どれがいいか転がしてみたら分かるよ。

★ は、活動や体験を通して、育つことが期待される資質・能力
 □ は、幼児教育の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）
 ○ は、幼児教育と小学校教育の学びのつながり

ビニルテープを貼って数を表現する

数字を書いた紙を貼って表現する



どの形でサイコロをつくるか相談する



サイコロをつくる

割ピンで止めたから針が回るよ。針が止まった数だけ進むよ。



ルーレット型のサイコロをつくる

- ・ 積み木でサイコロをつくりたいという意見が幼児たちから出てきた。そこで、直方体、立方体、三角柱の積み木や球体の風船を提示すると「これは同じの(面)ばかり出るよ。」「風船はふわふわ動いて駄目だね。」「ほら、やっぱりね。」等、自分たちでいろいろ試し、納得して立方体を選んでた。
- ・ サイコロでなくルーレットにこだわり、友達を誘って、考えを出し合いながらつくっていた。

★思考力、判断力、表現力等の基礎
 【思考力の芽生え】
 【数量や図形、標識や文字への関心・感覚】



動物の鳴きまねカードをつくる

指令カードをつくる



近道があったら面白いよ。

賛成！

一人で決めないで、みんなで決めよう。

すごろくのルートを決める



ゴールとか看板立てる？

フープや縄を固定する



この長さでいいかな？

OK！動かないようにしっかり止めるね。

すごろくのルールを決める

- ・ これまでのすごろく遊びの経験を生かして、遊びに必要なものを丁寧に作っていた。
- ・ 何の鳴きまねをするのか分かりやすいように絵カードをつくらしたり、[正解したら進む]とか、[好きな食べ物を言えたら進む]等、難度の違う指令カードを準備したりして、自分たちのアイデア満載のすごろくをつくっていた。
- ・ 「僕は問題をかくから、Sくんは何個進むかかいて」等、役割分担して準備を進めていた。

★学びに向かう力、人間性等
 【豊かな感性と表現力】
 【道徳性・規範意識の芽生え】

フープや縄をつかってすごろくのルートをつくる

- ・ 指令カードを貼ることも考えながらルートをつくっていた。まずフープを並べ、ルートをつくり始めると、自然と集まって考えを伝えたり、意見を言ったりして、共通の目的をもって遊び場をつくっていた。
- ・ 縄やフープが動かないように上手く固定できない場面では「失敗は成功のもと」と言いながら、友達と一緒にビニルテープの長さや貼り方を何度も試し、根気強く取り組んでいた。

★知識及び技能の基礎
 【協同性】
 【言葉による伝え合い】

○ 実践のような姿は、小学校の集団生活の中で、目的に向かって自分の力を発揮しながら友達と協力したり、様々な意見を交わす中で、新しい考えを生み出しながら工夫して取り組んだりする姿につながっていく。

★ は、活動や体験を通して、育つことが期待される資質・能力
 【】 は、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）
 ○ は、幼児教育と小学校教育の学びのつながり

北方なかよし保育園 1月の実践

ねらい：正月遊びを楽しむ中で、友達とルールを守り工夫したり協力したりしながら、遊びを進めようとする。

活動：友達とカルタ取りや福笑い、こま回しなどをして遊ぶ。

カルタしよう、集まって。私、読みたい！私はとるよ！

読み手の声や表情を見聞きしながら、読み札の内容を理解し、絵札を見付けていた。途中で取れた絵札を数え、負けた悔しさや勝った喜びを言葉や表情で伝えていた。

友達と一緒に遊ぶ中で、自分の気持ちを調整し友達と折り合いを付け、数を競い合うことを楽しんでた。

★学びに向かう力、人間性等

【数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚】

【道徳性・規範意識の芽生え】

○ こうした経験の積み重ねは、小学校の生活や学習において、友達と互いの思いや考えを伝え、受け止めたり、認め合ったりしながら一緒に活動する姿につながっていく。

餃子屋さん『ぎょ』。

札を見てたから『ぎょ』だけですぐ取れたよ。



福笑いする人、この指とまれ！

それ口よ、もっと下！

顔の下の方。そういいよ！



自分の考えや思いを伝え合い、話し合いで順番を決めていた。

遊びが始まると「パーツを渡す」「目隠しを手伝う」「声に出してパーツの位置を知らせる」など自分の役割を意識して取り組んでいた。

ルールを理解し、福笑いの面白さを味わいながら、友達と協力して遊びを進めていた。

★知識及び技能の基礎

【言葉による伝え合い】【協同性】

○ こうした経験の積み重ねは、初めて出会う人の中で、自分の気持ちや行動を自律的に調整し、学校生活を楽しくしていこうとする姿につながっていく。

こま回しはここで～す。競争しようか！

「こまが止まったら負け」「止まってもさわったら駄目にしよう」「勝手に、回したら順番が分らなくなるよ」「Goと言ったら回して」など友達と考えを出し合い、ルールを決めていた。

「5.4.3.2.1Go!」と掛け声をかけ、一斉にこまを回し競い始めた。その中で「強く長く回したい」「グルグルと速く回したい」「ぶつかりっこしても倒れないようにしたい」など様々な思いが聞かれた。「こまを両手で挟んで何回もぐるぐるして」「手に力を入れて、ピュンと床に置いてみて」など手の使い方や要領を言葉や動作で伝え、競い合いの中で試していた。

友達同士で根気よく繰り返し取り組んでいた。

★思考力、判断力、表現力等の基礎

【思考力の芽生え】【自立心】

両手をこう擦り合わせたらよく回るよ。

誰のこまが最後まで残るかな！

